

ミツバ岳山行報告（2018年3月31日（土））

参加者（5名）： 石井、伊藤、神田、松山、三浦

行程： 8:25 新松田駅＝（バス）＝9:15 丹沢湖（トイレあり）9:40－10:30 登山口（滝壺橋）35－12:10 ミツバ岳山頂（835m）・昼食 13:00－14:00 権現岳 14:20－15:13 二本杉峠 20－16:25 細川橋バス停 16:41＝（バス）＝17:45 新松田駅

ミツバ岳は西丹沢の丹沢湖の北岸にある 835m の目立たない山である。これといった特徴が無くマイナーな山であるが、春に咲くミツマタの花の大群落で有名になった。

本日は 8 時 25 分新松田発西丹沢行のバスに乗ると大混雑で、立って行くことになってしまった。9 時 15 分に丹沢湖バス停着、ここにはトイレがあるので一つ前だが降りた。舗装道路を進み浅瀬入り口から左に曲り、丹沢湖沿いに歩いて滝壺橋登山口に到着した。

ここで再度身支度をして登山開始すると、いきなりの急登が始まる。足場が悪くうっかり転ぶと真下の滝壺場所落ちそうである。10 分くらい登ると、一旦なだらかな場所に着いた。この先も相変わらずの急斜面であるが、ジグザグのやや歩きやすい道となって来た。植林帯の中の急斜面を汗をかきながら登ると、広葉樹林帯に抜け出した。間もなく待望の黄色い花の群落が見え出し、12 時 10 分にミツバ岳山頂（835m）に到着した。

日当たりの良い山頂付近には背丈より大きいミツマタが何十株も黄色い花を一杯に着けている。登っているときはあまり人がいなかったが、山頂にはさすがに登山者が多い。左側に行くと、ミツマタの向こうに富士山が見える場所がある。ゆっくり昼食をとり、青空とミツマタの花を楽しんだあと、権現山目指して 13 時に出発した。ここからは踏み跡も薄くなり標識も少なくなる。一旦大きく下ってから、主に落葉樹林の急傾斜を登って、14 時に権現山山頂に着いた。山頂からは東に行くと直接浅瀬入口下ることができるが、急傾斜であり道もはっきりしない。我々は安全第一と、北に向かって 14 時 20 分に下る。

楽かと思ったこちらのコースも、最初は植林帯の中のものすごい急傾斜であった。それでも 20 分くらい下ると傾斜がゆるくなってきた。植林帯の中のうす暗い道を行き、小さなピークを越え 15 時 13 分に二本杉峠に着いた。峠から右側に曲り山腹を巻いて下る道は、あちこち崩壊しかかって歩みにくい。植林の中に背の低いミツマタが沢山咲いている場所を過ぎると間もなく大きな堰堤が見え出し、沢に沿って下ると車道歩きとなる。人家のある集落に出て少し下ると 16 時 25 分に細川橋バス停に着いた。

あまり待たずに 16 時 41 分発のバスが来た。帰りはガラガラで、17 時 45 分新松田駅に着いた。駅前の居酒屋で反省会を開催、20 時 20 分の小田急線で帰途に着いた。

今回はお目当てのミツマタの花がドンピシャリ、最盛期であった。急斜面の上り下りはあったが、道はかなりはっきりしており迷う心配は少なかった。快晴の空の下富士山も良く見えたし、ミツマタの花も満開で明るく、最高の一日を楽しむことができた。

（伊藤）

